

公共事業等施行状況調（平成23年12月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (12月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		23年度 C	C/A	22年度 D	D/B	
		23年度	22年度	23年度 A	22年度 B					
1	治山・治水	19,376	19,932	14,429	15,401	10,917	75.7	10,524	68.3	
2	農林・水産	32,071	29,423	17,315	20,767	13,579	78.4	15,983	77.0	
3	道 路	37,781	40,138	24,544	28,283	21,016	85.6	20,329	71.9	
4	港湾・空港	6,982	7,469	3,354	2,929	3,174	94.6	2,479	84.6	
5	下水道・公園	2,636	3,610	1,219	2,033	1,073	88.0	1,743	85.7	
6	住 宅	1,570	1,551	1,101	1,079	973	88.4	1,044	96.8	
7	庁 舎	1,082	1,009	1,032	857	1,013	98.2	676	78.9	
8	土地造成	0	0	0	0	0	--	0	--	
9	鉄道・軌道	100	0	100	0	61	61.0	0	--	
10	学校・病院	3,596	2,926	2,577	2,025	1,627	63.1	1,734	85.6	
11	工業用水・上水道等	1,155	1,036	159	51	81	50.9	41	80.4	
12	災害復旧	13,528	663	10,935	464	6,045	55.3	419	90.3	
13	その他	24,265	16,621	8,484	6,809	6,282	74.0	5,681	83.4	
	計	144,143	124,378	85,248	80,696	65,842	77.2	60,653	75.2	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（平成23年12月末）

（単位：件、百万円、％）

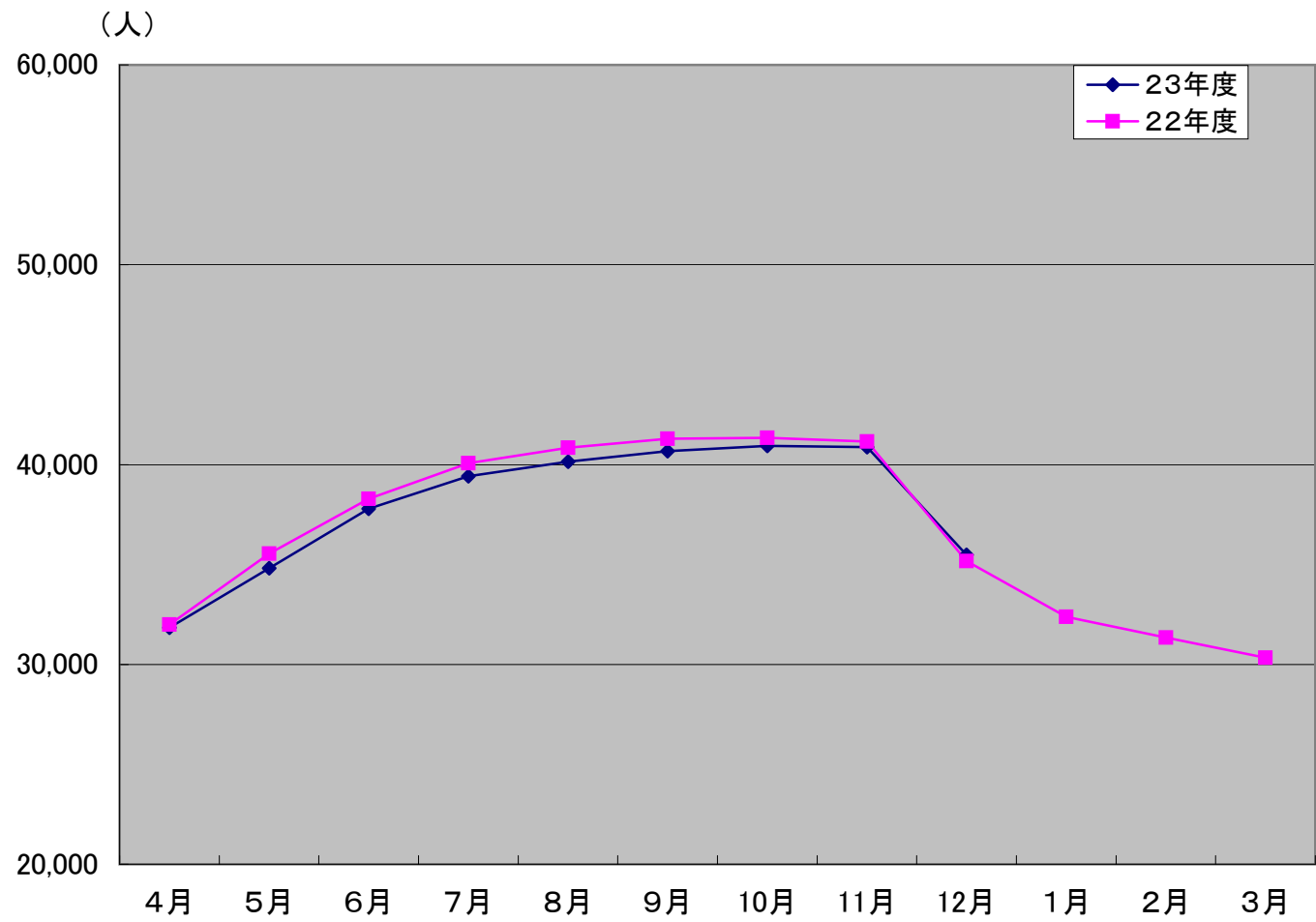
事 項	予 算 措 置 額 (A)		発 注 実 績											
			合 計 (B)			県 内 (C)			県 外 (D)			共 同 企 業 体 (E)		
区 分	事業費	本工事費	指 名	契 約	金 額	指 名	契 約	金 額	指 名	契 約	金 額	指 名	契 約	金 額
23年度	144,143	85,248	28,430	2,830	65,842	26,022	2,629	55,358	2,144	178	4,529	264	23	5,955
					77.2	91.5	92.9	84.1	7.5	6.3	6.9	0.9	0.8	9.0
前年度比	115.9	105.6	109.0	80.2	108.6	106.2	79.0	104.7	152.7	96.2	117.8	148.3	164.3	151.9
22年度	124,378	80,696	26,087	3,528	60,653	24,505	3,329	52,890	1,404	185	3,843	178	14	3,921
					75.2	93.9	94.4	87.2	5.4	5.2	6.3	0.7	0.4	6.5

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)12月末

被保険者数

	23年度	22年度
4月	31,840	31,999
5月	34,818	35,543
6月	37,793	38,291
7月	39,417	40,075
8月	40,146	40,841
9月	40,670	41,295
10月	40,934	41,344
11月	40,874	41,150
12月	35,489	35,165
1月		32,384
2月		31,337
3月		30,341

前月末被保険者数	40,874
資格取得者数	574
資格喪失者数	5,956
転入者数	0
転出者数	3
今月末被保険者数	35,489



建設資材の需給・価格動向調査 (24年1月)

区分	品名・規格	単位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	12,500	0.0	12,500	0.0	12,500	0.0	12,500	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,230	0.0	2,230	0.0	2,230	0.0	2,230	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	4,250	0.0	4,250	0.0	4,250	0.0	4,250	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	23,200	0.0	23,200	0.0	23,200	0.0	23,200	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	11,000	0.0	11,450	0.0	12,200	0.0	11,550	0.0	
砕石等	洗砂	m3	2,600	0.0	2,500	0.0	3,300	0.0	2,800	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,700	0.0	3,300	0.0	3,600	0.0	3,533	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,500	0.0	2,400	0.0	2,400	0.0	2,433	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	92,000	0.0	92,000	0.0	92,000	0.0	92,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	60,000	0.0	60,000	0.0	60,000	0.0	60,000	0.0	D16
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	87,000	0.0	87,000	0.0	87,000	0.0	87,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,600	0.0	12,900	0.0	12,500	0.0	12,667	0.0	126,670円/10t
木 材	杉正角 特一等材 10.5×10.5×3m	m3	52,000	0.0	52,000	0.0	52,000	0.0	52,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	110.0	0.0	110.0	0.0	110.0	0.0	110.0	0.0	110,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	72.0	1.4	72.0	1.4	72.0	1.4	72.0	1.4	72,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,130	0.0	1,130	0.0	1,130	0.0	1,130	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	77,000	0.0	77,000	0.0	77,000	0.0	77,000	0.0	

建設資材の需給・価格動向調査 (24年1月)

	需給動向									価格動向									備考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩和	均衡	逼迫	緩和	均衡	逼迫	緩和	均衡	逼迫	緩和	均衡	逼迫	上	安	下	上	安	下		上	安	下	上	安	下	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			平成23年4月～11月の販売量は約39万4千トン(セメント協会調べ)で、前年同期比1.5%減となっている。販売店各社は、生コンメーカー等と価格の上積み交渉を継続しているものの、依然抵抗が強く進展していない。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
コンクリート製品	○				○			○			○			○			○			○			○			公共工事関連の実需が本格化していないため、依然として荷動きは鈍いままである。各メーカーでは過去の鉄筋や輸送コストの上昇分を製品価格に転嫁したい意向だが、需要家の購入姿勢が厳しく交渉の進展は厳しい状況にある。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			平成23年4月～11月の出荷量は約63万m3(工組調べ)で前年同期比20.9%の増加。北海道新幹線のトンネル工事等の需要が好調に推移したことなどが要因。協組は原材料の先高観に危機感を強め、値上げ交渉を継続中だが需要家の反発が強く進展していない。先行き、横ばいで推移する見通し。
砕石	○				○			○			○			○			○			○			○			再生材の使用が主流となっているなか、依然クラッシュランの需要は低迷している。砕石業者では、過去の原油高騰によるコスト上昇時の値上げが積み残しのままであることなどから、販売価格引き上げの意向を示している。しかし、工事が低迷するなか、交渉は進展していない。先行き、横ばい推移の見通し。
小棒		○			○			○			○			○			○			○			○			依然として震災関連の復旧・復興工事が本格化しておらず、マンション建設等新規の工事発注も少ない。ここにきて鉄くず市況が反転したことを受け、軟調だった市況は横ばいに転じた。地区内メーカーは値戻しの意向を示しているが、市場では先行きに対する不透明感が強く、先行き、横ばいのまま推移しよう。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			平成23年4月～11月の生産量は約48万5千トン(協会調べ)で前年同期比10.0%減。需要低迷とストアスの高値推移を背景に、メーカー各社は需要家との値上げ交渉を継続している。しかし、出荷量の減少傾向が続くなど、交渉は進展していない。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
木材		○			○			○			○			○			○			○			○			平成23年11月の新設住宅着工戸数は、住宅エコポイント再開の後押しもあり、495戸と前年同期比36.7%の大幅増となっているが、供給は確保され品薄状況には至っていない。積雪期に入り、需要は落ち込むとみられるが流通筋は在庫調整に動いていることから、目先、横ばい推移の見込み。
油類		○			○			○			○			○			○			○			○			石油元売り各社は原油価格が下落したことを受け、仕切価格を引き下げた。しかし、特約店・販売店では需要期を迎え、利益確保の動きを強めたため、軽油は前月比変わらず。重油は1円上伸している。年明け以降、海外の原油価格が上昇傾向にあることから、国内の需給は引き続きタイトに推移すると見られる。目先、強含みで推移する公算が強い。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○			震災で被災した工場からの入荷が再開されたが、その入荷量は震災前の半分程度にとどまっており、輸入品の入荷量も回復していない。これに対し出荷は、民間の震災復興向けがあるものの、大きな伸びとはなっていないことから需給は均衡が保たれ、市場は落ち着いた動きとなっている。目先、需給が変動する要因は見当たらず、横ばい推移の見込み。
形鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			主要電炉メーカーは12月に販売価格を引き下げたものの、1月は一転して値上げを表明した。依然として新規の引き合いが少なく、需要家は模様眺めの姿勢を崩していないため、価格交渉の進展には時間を要するものとみられる。鉄くずの動向に不透明感が強まるなか、先行き、横ばいのまま推移する見込み。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

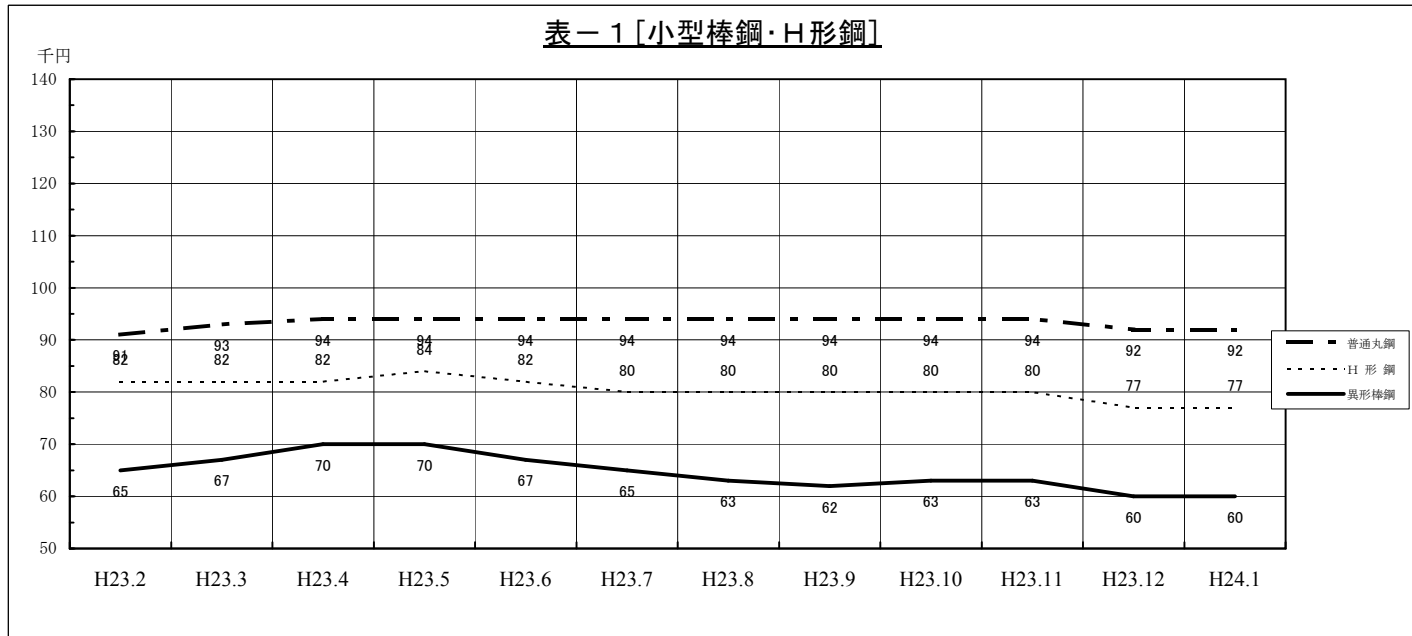


表-2 [セメント・生コン]

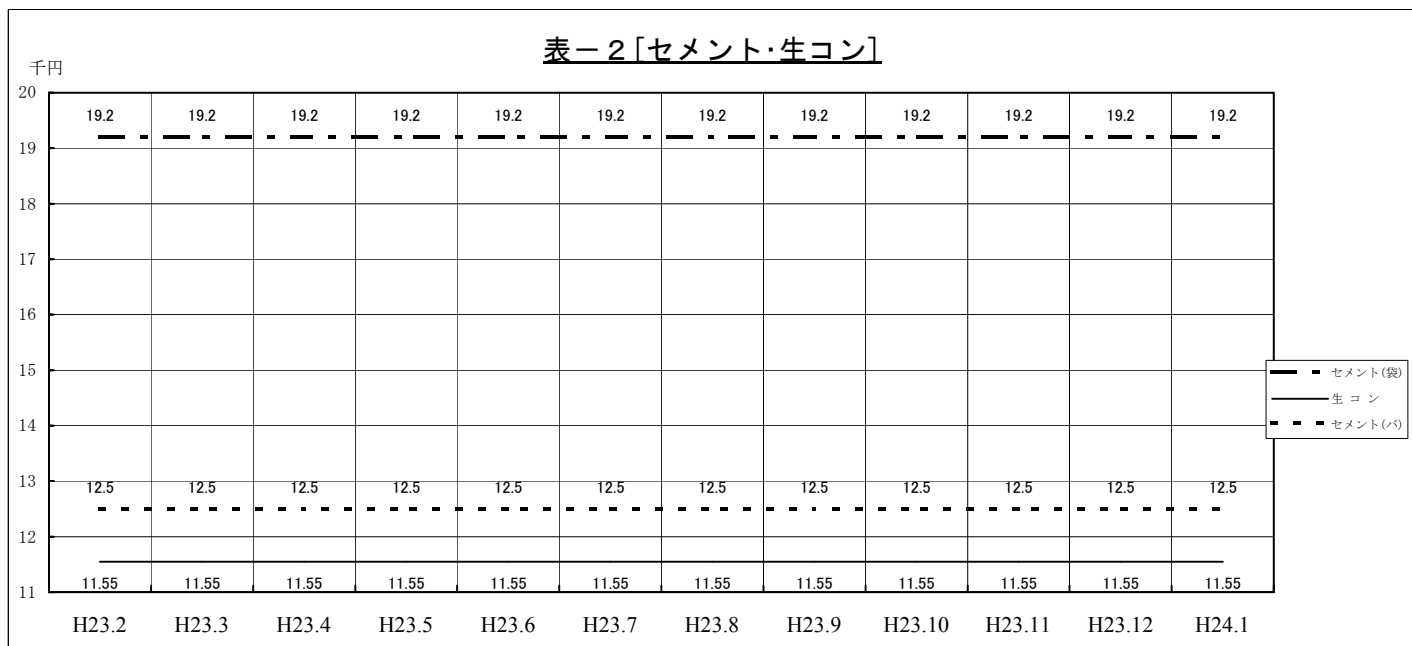


表-3 [骨材]

